

震災記念公園専門部会の活動報告

1. 専門部会の目標

- 益城町内における防災教育を行う場としての震災記念公園の整備

2. 目標達成に向けて今年度実施した取組

- 中心拠点(役場新庁舎・復興まちづくり支援施設)の具体化に向けた検討
 - 震災記念公園の中心拠点の候補地としている役場新庁舎の設計が今年度中に完了することから、中心拠点に必要な機能や設備の具体化に向けて、新庁舎整備部門との意見交換を実施した。(令和元年度)
 - 役場新庁舎の展望テラス等及び復興まちづくり支援施設ギャラリーにおける展示内容及び展示方法についての具体的な検討を開始。(専門部会での検討、庁内関係部署との検討、外部事業者との意見交換等)
- 「益城町震災の記憶マップ」(素案)の作成
 - 「ふるさとキャンパスマップ」から「震災記憶マップ」のテーマに沿った要素を抽出。震災遺構保存・活用専門部会で選定している 28 の震災遺構や防災教育専門部会での検討状況を踏まえて「震災記憶マップ」(素案)を作成。

3. 今後の取組予定

- 復興まちづくり支援施設の展示完成(令和 3 年度)
 - 令和 3 年度中に復興まちづくり支援施設完成予定。施設完成のタイミングで展示も開始できるよう、展示内容・方法の決定、展示物の収集・制作を実施していく。
 - 復興まちづくり支援施設の完成を期に、町内各所で行われている「記憶の継承」活動を共有するためのイベント「みんなでツナグ 益城の記憶」の開催も検討。「コミュニティアーカイブの拠点」としての活動も開始していく。
- 役場新庁舎での展示完成(令和 3 年度)
 - 令和 4 年度の役場新庁舎完成に向けて、展望テラス等における展示内容・方法についての検討を行い、必要な機器等の決定、その導入に向けた調整(機器の選定、コンテンツ作成等)に着手する。
- 役場敷地内公園の「記憶の継承」への活用方法について検討を開始(令和 3 年度)
 - 震災から 5 年目という節目を期に、具体的な検討を開始。先災地での整備状況の確認や地元の方の意向のお伺いを通じた必要性の検討を行う。
- 「益城町震災の記憶マップ」の活用(令和 3 年度)
 - デザインを整えた上で印刷・配布し、防災教育や教育旅行等で活用していく。(掲載内容は定期的に更新していく)
 - また、モデルコースの作成やコースを回るイベントの開催に向けた検討を行う。さらに将来的に誰もが自分でモデルコースを巡ることができるように QR コード付標柱の整備等について検討を開始する。